

お金に換算できない価値が眠るところ-里山「里山資本主義」

藻谷浩介氏が 下関を愛する人たちに語ります

「終のすみかの地・下関をどうしたいのか？
未来の子供達のためにも」
～今私たちは何をすべきかを考えます～



写真©菅田(わいだ)純一氏

講師：藻谷浩介氏

(日本総研調査部主任研究員)

山口県生まれの49歳。平成合併前3,200市町村のすべて、海外59ヶ国をほぼ私費で訪問し、地域特性を多面的に把握。日本開発銀行、米国コロンビア大学ビジネススクール留学、日本経済研究所などを経ながら、地域振興や人口成熟問題に関し精力的に研究・著作・講演を行う。2012年より現職。近著にデフレの正体、第七回新書大賞を受賞した里山資本主義(共に角川Oneテーマ21)、金融緩和の罠(集英社新書)など。

ご存知ですか？下関市は高齢化率31.0%(全国平均25.6%)で高齢者の多いまち。人口減少も進み、空き家の多いまち。市内の所得水準も全国水準を下回っており、生活保護世帯数が増加しているなどなど。このまちに未来があるのでしょうか？

私たち一人ひとりが現状を学び、その中で今、何をすべきかを考え実行する時がきています。一人でも多くの方々と、我がまち「下関」をよくするために藻谷氏に講演して頂きます。

日 時……1月31日(土) 14:00～16:00

会 場……下関市社会福祉センター4F

(下関市貴船町3-4-1)

参加費……500円(チケット制)

お申込み方法

チケットはホーモイ会員・プレイガイド「ラン」にてお求めください

お問い合わせ先 ☎・FAX:083-253-4892(田中)

主催……高齢社会をよくする下関女性の会(ホーモイ)

後援……下関市 下関市教育委員会 下関市社会福祉協議会

〈平成26年度下関市市民活動支援補助事業〉